

様式1(主な取組)

活動指標名	デジタル撮影数(デジタル化簿冊数)				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
				11,615簿冊	9,039簿冊	11,000簿冊	82.1%	117,338	順調	琉球政府文書9,039簿冊のデジタル化を行い、劣化資料には紙力強化など必要な修復措置を行った。 また、デジタル化した資料については、書誌情報の登録及び個人情報等保護措置を行い、7,031簿冊をインターネットで公開した。
活動指標名	琉球政府文書のインターネット公開簿冊数				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 琉球政府文書のデジタル撮影の計画値は、撮影資料の難易度により当初計画の11,000簿冊から9,000簿冊に変更して実施した。また、インターネットでの公開数についても順調に取り組みを推進した。 なお、平成28年度まではデジタル化コマ数を活動指標としていたが、琉球政府文書は簿冊単位でデジタル化とインターネット公開を行っているため、平成29年度以降は、デジタル化簿冊数を活動指標としている。
		125簿冊	3,612簿冊	6,254簿冊	7,031簿冊	-	100.0%			
活動指標名	琉球政府文書のデジタル化コマ数				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	337コマ	434コマ	432コマ	-	-	-				
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成30年度の取組改善案						反映状況				
①効率的に業務を推進するため、対象簿冊の出納・劣化度確認・仕分け・修復方針決定・デジタル化等々の作業項目ごとに、県、事業受託者及び公文書館指定管理者間での確認体制の検討を行う。 ②公開する資料等については、公開システムへのアクセス状況等を分析するとともに、アンケートを実施し、利用者ニーズの把握、利便性の向上及び理解度の促進に繋げる。						①事業の実施にあたっては、県、事業受託者及び指定管理者による定例会を2か月に1回開催し、事業推進上の課題について共有し改善するなど、事業の円滑な推進に繋げた。 ②公開する資料及び解説等を充実させる資料については、閲覧実績等により利用者が多いと見込まれる資料を対象とした。 なお、閲覧簿冊数は、昨年度より減少している。(今後利用促進に繋がる広報等検討に繋げる予定。)				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・資料のデジタル画像の質が悪い場合は公開データに適さない場合もあり、再撮影や撮影要件の調整が必要であるため、最終的に保管・公開を行うこととなる公文書館指定管理者と連携していく必要がある。

○外部環境の変化

・インターネットの普及に伴い、遠隔からの資料閲覧の利便性向上が求められることから、引き続き、掲載資料の充実を図り、多様なニーズに対応した資料公開を行う必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・デジタル画像については、利用者の利便性を考慮した画質(解像度、色調や形状等)となるよう、事業契約の仕様書で明記し、公文書館指定管理者と連携して保管・公開を行う必要がある。

・公開資料の多様な利用を促進するため、県民等への周知手法の検討を行う必要がある。



4 取組の改善案(Action)

・効率的に業務を推進するため、進捗に合わせた撮影対象簿冊の選定や簿冊の形態により異なる撮影方法等に関し、県、事業受託者及び公文書館指定管理者間での確認体制の検討を行う。

・公開する資料等については、わかりやすい資料掲載に努めるとともに、利用拡大を図るためホームページ、テレビ、広報誌等を活用した周知手法の検討を行う。